

光ケーブルに関する
調査表記入マニュアル

[E330] 光ケーブル基本

この調査表は、光ケーブル区間（端局間）の光ケーブルに関する基本的データを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

- (1) データは次の単位で作成する。
 - 路線毎とする。
 - 端局・接続箱区間毎とする。
- (2) 光ケーブルに関する利用用途については「E331光ケーブル用途」にて作成する。
- (3) 光ケーブルに関する写真・図面類については「E332光ケーブル図面類」にて作成する。
- (4) 光ケーブルに関する補修履歴等については「E333光ケーブル補修歴」にて作成する。
- (5) 光ケーブルが接続される端局・接続箱に関する諸元データについては「E334光ケーブル端局」にて作成する。
- (6) 光ケーブルが接続される端局・接続箱に関する写真・図面類については「E335光ケーブル端局図面類」にて作成する。
- (7) 光ケーブルが接続される端局・接続箱に関する補修履歴等については「E336光ケーブル端局補修歴」にて作成する。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2

(J) 整理番号3

(N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 百米標自(km)

該当する区間の距離標(百米標)を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(Q) 距離自(m)

該当する区間の距離標(百米標)からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(R) 百米標至(km)

該当する区間の距離標(百米標)を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(S) 距離至(m)

該当する区間の距離標(百米標)からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(V) 施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。(年は和暦を記入)

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(記入例) 昭和61年 ——> $\frac{3}{\uparrow}$ 61
年号コード(3:昭和)を記入する

(W) 施設改修年度

施設を改修した年度を記入する。(年は和暦を記入)

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は「*」を記入する。

(記入例) 平成5年 ——> $\frac{4}{\uparrow}$ 05
年号コード(4:平成)を記入する

(X) 所在地自：◆

該当する区間の始点側の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(Y) 所在地至：◆

該当する区間の終点側の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(Z) 支持方法C：◆

光ケーブルの支持方法について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
地中管路	1 1
架空配線	1 2
ラ ッ ク	1 3
共 同 溝	1 4
C A B	1 5
電線共同溝(C. C. BOX)	1 6
情報BOX	1 7
そ の 他	9 9

(AB) 管路深さ又は配線高さ (m)：◆

管路布設の深さ又は架空ケーブル等の配線の高さを、小数点以下1位まで記入する。

(AC) 管路設置道路延長 (m)：◆

管路が設置されている道路延長を、小数点以下1位まで記入する。

(AD) ケーブル敷設延長 (m)：◆

光ケーブルの敷設延長を、小数点以下1位まで記入する。

(AE) ケーブル敷設年月：◆

光ケーブルの敷設年月を記入する。（年は西暦年で記入）

(記入例) 1997年 2月 ——> 199702

(AF) ケーブル種類C：◆

光ケーブルの種類について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
シングルモード (SM)	1 1
グレーデッドインデックス(GI)	1 2
ステップインデックス(SI)	1 3
そ の 他	9 9

(AH) ケーブル型式C : ◆

光ケーブルの型式について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
層 型	1 1
ユニット型	1 2
テープスロット型	1 3
そ の 他	9 9

(AJ) 幹線ローカル線別C

接続される回線について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
幹 線	1
ローカル線	2

(AL) 実装芯数 (本) : ◆

実際装置されているケーブルの芯線数を記入する。

(AM) 使用芯数 (本)

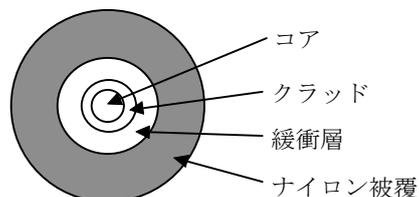
使用されているケーブルの芯線数を記入する。

(AN) コア径 (μm)

折率の大きな円柱形媒体で構成される中心部のコア径を記入する。

(AO) クラッド径 (μm)

コアの周囲に屈折率の小さな円筒形媒質で構成されるクラッド径を記入する。



(AP) 波長 (μm)

伝送時の波長を、小数点以下2位まで記入する。

(AQ) 伝送損失 (db・km)

光ケーブルの伝送損失を、小数点以下1位まで記入する。

(AR) 伝送帯域 (MHz・km)

光ケーブルの伝送帯域 (変調周波数) を記入する。

(AS) 伝送方式C

光ケーブルの伝送方式について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
P C M	1 1
D - I M	1 2
S D H	1 3
そ の 他	9 9

(AU) 専用多重化別C

通信回線について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
専 用 回 線	1
多 重 化 回 線	2

(AW) 製造会社

光ケーブルの製造会社について、15文字以内の日本語で記入する。

(AX) 起点側端局接続箱番号

光ケーブル区間の起点側で繋がっている端局接続箱の整理番号を記入する。(E334の整理番号1と整合させること)

(AY) 終点側端局接続箱番号

光ケーブル区間の終点側で繋がっている端局接続箱の整理番号を記入する。(E334の整理番号1と整合させること)

(AZ) 敷設施設名称：◆

光ケーブルが設置されている関連施設(共同溝、CAB等)の名称を記入する。

(BA) 敷設施設整理番号

光ケーブルが設置されている関連施設(共同溝、CAB等)工種の親表(各基本データ)の整理番号を記入する。

(BB) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(BC) 市区町村自C：◆

該当する区間の始点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード：08401
(検査数字は含まない)

(BE) 市区町村至C：◆

該当する区間の終点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡大洋村の場合 ——> コード：08403
(検査数字は含まない)

[E331] 光ケーブル用途

この調査表は、光ケーブル区間の利用用途に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「E330光ケーブル基本」の作成単位毎とする。
- 利用用途種別毎とする。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(G-1) 現旧区分

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 利用目的C

利用目的について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
情報収集	1
情報提供	2
情報交換・監視	3
そ の 他	9

(R) 利用情報種別C

利用情報の種別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
画像情報	1
音声情報	2
数値情報	3
そ の 他	9

(T) 利用用途種別C

利用用途の種別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
CCTV動画	1 1	道の駅図形情報	5 1
CCTV静止画	1 2	道の駅提供情報	5 2
CCTV制御	1 3	情報板提供文字コード	6 1
気象センサデータ	2 1	テレビ会議画像	7 1
路側放送現地モニタ	3 1	テレビ会議音声	7 2
路側放送提供情報	3 2	電話音声	8 1
I T Sサービス別収集情報	4 1	F A Xデータ	8 2
I T Sサービス別提供情報	4 2	そ の 他	9 9

(V) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する

[E333] 光ケーブル補修歴

この調査表は、光ケーブル区間の補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「E330光ケーブル基本」の作成単位毎とする。
- 補修が行われた毎とする。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(G-1) 現旧区分

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 補修年月

補修を行った年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1985年10月 ——> 198510

(Q) 補修内容C

補修内容について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
ケーブルの修復	1 0 1
取替え	1 0 2
コネクタの修復	2 0 1
取替え	2 0 2
そ の 他	9 9 9

(S) 備考

損傷原因等について50文字以内の日本語で記入する

[E 3 3 4] 光ケーブル端局

この調査表は、光ケーブルが接続される端局・接続箱に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 端局・接続箱毎とする。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

(J) 整理番号3

(N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 百米標(km)

該当する区間の距離標(百米標)を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(Q) 距離(m)

該当する区間の距離標(百米標)からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基

本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(T) 施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(記入例) 昭和61年 ——> $\begin{matrix} 361 \\ \uparrow \\ \text{年号コード(3:昭和)を記入する} \end{matrix}$

(U) 施設改修年度

施設を改修した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編）， §1. 共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は「*」を記入する。

(記入例) 平成5年 ——> $\begin{matrix} 405 \\ \uparrow \\ \text{年号コード(4:平成)を記入する} \end{matrix}$

(V) 所在地：◆

該当する区間の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(W) 端局設置年月：◆

端局・接続箱の設置年月を記入する。（年は西暦年で記入）

(記入例) 1997年 2月 ——> 199702

(X) 端局装置種別C：◆

端局・接続箱の装置種別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
成端接続箱	1 1
接続箱（分岐、直線）	1 2
機側装置（CCTV等）	2 1
そ の 他	9 9

(Z) 端局設置区分C : ◆

端局・接続箱の設置区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
上り側車道	1 1	地方整備局	2 1
上り側路肩	1 2	事 務 所	2 2
上り側歩道	1 3	出 張 所	2 3
中 央 帯	1 4	そ の 他	9 9
下り側車道	1 5		
下り側路肩	1 6		
下り側歩道	1 7		

(AB) 端局製造者名 : ◆

端局・接続箱の製造者名について、15文字以内の日本語で記入する。

(AC) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(AD) 市区町村C : ◆

該当する区間の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード：08401
(検査数字は含まない)

[E336] 光ケーブル端局補修歴

この調査表は、光ケーブルが接続される端局・接続箱の補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「E334光ケーブル端局」の作成単位毎とする。
- 補修が行われた毎とする。

2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(G-1) 現旧区分

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 補修年月

補修を行った年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1985年10月 ——> 198510

(Q) 補修内容C

補修内容について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
接続箱（クローヰャ等）の修復	1 0 1
取替え	1 0 2
そ の 他	9 9 9

(S) 備考

損傷原因等について50文字以内の日本語で記入する

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/2

E330：光ケーブル（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
百米標自	999.9	k m	○	○
距離自	9999	m	○	○
百米標至	999.9	k m	○	○
距離至	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦		○
所在地自	全角30文字		○	○
所在地至	全角30文字		○	○
支持方法C	半角2文字		○	○
管路深さ又は配線高さ	99.9	m	○	○
管路設置道路延長	999999.9	m	○	○
ケーブル敷設延長	999999.9	m	○	○
ケーブル敷設年月	199901	西暦	○	○
ケーブル種類C	半角2文字		○	○
ケーブル型式C	半角2文字		○	○
幹線ローカル線別C	半角1文字			○
実装芯数	999	本	○	○
使用芯数	999	本		○
コア径	999	μ m		○
クラッド径	999	μ m		○
波長	99.99	μ m		○
伝送損失	99.9	db・km		○
伝送帯域	9999	MHz・km		○
伝送方式C	半角2文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

E330：光ケーブル（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
専用多重化別C	半角1文字			○
製造会社	全角15文字			○
起点側端局接続箱番号	半角8文字			○
終点側端局接続箱番号	半角8文字			○
敷施設設名称	全角10文字		○	○
敷施設設整理番号	半角8文字			○
備考	全角50文字			○
市区町村自C	半角5文字		○	○
市区町村至C	半角5文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E331：光ケーブル（用途）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
利用目的C	半角1文字			○
利用情報種別C	半角1文字			○
利用用途種別C	半角2文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E333：光ケーブル（補修歴）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
補修年月	199901	西暦		○
補修内容C	半角3文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E334：光ケーブル（端局）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
百米標	999.9	k m		○
距離	9999	m		○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦		○
所在地	全角30文字		○	○
端局設置年月	199901	西暦	○	○
端局装置種別C	半角2文字		○	○
端局設置区分C	半角2文字		○	○
端局製造者名	全角15文字		○	○
備考	全角50文字			○
市区町村C	半角5文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E336：光ケーブル端局（補修歴）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
補修年月	199901	西暦		○
補修内容C	半角3文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照